

# みやぎの鳥類レッドリスト

参考「宮城県の希少な野生動物」 2001 宮城県環境生活部自然保護課

## 宮城県カテゴリー区分

区分	基本概念および具体的要件
絶滅 Extinct(EX)	本県ではすでに絶滅したと考えられる種 環境庁レッドリストの「絶滅」に相当
野生絶滅 Extinct in the Wild(EW)	飼育・栽培下でのみ存続している種 環境庁レッドリストの「野生絶滅」に相当
絶滅危惧 類 (CR+EN)	本県において絶滅の危機に瀕している種 環境庁レッドリストの「絶滅危惧 類」に相当
絶滅危惧 類 Vulnerable(VU)	本県において絶滅の危険が増大している種 環境庁レッドリストの「絶滅危惧 類」に相当
準絶滅危惧 Near Threatened(NT)	存在基盤が脆弱(ぜいじゃく)な種 環境庁レッドリストの「準絶滅危惧」に相当
情報不足 Data Deficient(DD)	評価するだけの情報が不足している種 環境庁レッドリストの「情報不足」に相当
絶滅のおそれのある地域個体群 Threatend Local Population (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれの 高いもの 環境庁レッドリストの「絶滅のおそれのある地域 個体群」に相当
要注目種	本県では、現時点で普通に見られるものの、特徴 ある生息・生育状況等により注目すべき種

### 絶滅危惧 類(CR+EN)

<b>オオヨシゴイ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 B類
<p>分布が局地的で個体数の少ないサギ類のひとつである。宮城県でも繁殖が確認されているが、近年個体数は減少する傾向にある。</p>	
<b>シジュウカラガン</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 A類
<p>カナダガンの孤立亜種で、越冬地は日本とアメリカ西海岸に限られている希少種。宮城県は数少ない定期的な越冬地である。</p>	

## 絶滅危惧 類(CR+EN)

<b>クマタカ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 B類
<p>南アジア系の種であり，本亜種は日本・朝鮮半島に主産する。森林性の大型のタカで，宮城県でも繁殖しており，山地の森林における生態系の頂点に立つが生息数が少ない。本種が生息できる環境を維持することは環境の多様性とそれに依存している種の多様性を維持する上で重要である。</p>	
<b>イヌワシ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 B類
<p>北半球に広く分布する種イヌワシの日本と朝鮮半島産の亜種。山地における生態系の頂点に立つ大型猛禽類。宮城県でも繁殖している。</p>	
<b>ウズラ</b>	環境庁レッドリスト 情報不足
<p>東アジアに分布し，宮城県にも生息する。近年，生息数は減少している。</p>	
<b>ウトウ</b>	環境庁レッドリスト 対象外
<p>宮城県は集団繁殖地の南限にあたる。生息数は減少している。</p>	
<b>チゴモズ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
<p>全国的に渡来数が減少している夏鳥。宮城県でも近年，渡来数は著しく減少している。</p>	
<b>アカモズ</b>	環境庁レッドリスト 準絶滅危惧
<p>全国的に渡来数が減少している夏鳥。宮城県でも近年，渡来数は著しく減少している。</p>	
<b>オオセッカ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 B類
<p>アジア東部のごく一部にのみ分布する。繁殖つがい数も少なく希少種として重要である。国内の生息個体数も少なく，宮城県では過去に繁殖の記録があるが，現在は渡りの時期に湿性草地に出現するだけである。</p>	

## 絶滅危惧 類(VU)

<b>アホウドリ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
<p>アホウドリ類のうち，最も数の少ない種のひとつで，世界的な希少種である。生息数が少ないためあまり見られないが，宮城県沖合はアホウドリの移動ルートになっている。</p>	
<b>コクガン</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
<p>越冬海域が局限される傾向が強く，宮城県は比較的大きな群れの定期的な越冬地の南限になっている。</p>	
<b>オジロワシ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 B類
<p>世界的にも減少が目立ち，国内の繁殖地も，開発などの影響を受けて減少している希少種。宮城県は越冬地のひとつとなっている。</p>	
<b>オオワシ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
<p>極東北部だけに分布する希少種で世界的に数が少ない。宮城県は定期的な越冬地の太平洋側の南限になっている。</p>	
<b>サシバ</b>	環境庁レッドリスト 対象外
<p>少ない夏鳥，里山を特徴付けるタカ，生息数は多くはないと考えられる。里山環境の荒廃によって衰退する可能性が高い。</p>	
<b>コアジサシ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
<p>宮城県は集団繁殖地の北限にあたる。近年繁殖地は定まらず，人工的に造成された裸地で繁殖行動が行われており，安定的な繁殖地の存続は望めない。</p>	
<b>サンショウクイ</b>	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
<p>全国的に自然林の減少と共に，記録が少なくなっている。宮城県でも生息・繁殖しているが生息地域は減少している。</p>	

## 準絶滅危惧(NT)

サンカノゴイ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 B類
ミゾゴイ	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
チュウサギ	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
マガン	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
カリガネ	環境庁レッドリスト	対象外
ヒシクイ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 類
オオヒシクイ	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
ミサゴ	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
ハチクマ	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
オオタカ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 類
ハイタカ	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
チュウヒ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 類
ハヤブサ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 類
ヘラシギ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 B類
アカアシシギ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 類
ハウロクシギ	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 類
オオジシギ	環境庁レッドリスト	準絶滅危惧
アオバズク	環境庁レッドリスト	対象外
コジュリン	環境庁レッドリスト	絶滅危惧 類

## 情報不足(DD)

クロコシジロウミツバメ	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
カラシラサギ	環境庁レッドリスト 情報不足
ツミ	環境庁レッドリスト 対象外
シマクイナ	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
シベリアオオハシシギ	環境庁レッドリスト 情報不足
トラフズク	環境庁レッドリスト 対象外
コノハズク	環境庁レッドリスト 対象外
オオコノハズク	環境庁レッドリスト 対象外
アカショウビン	環境庁レッドリスト 対象外

## 絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

シノリガモ	環境庁レッドリスト 絶滅のおそれのある地域個体群
ノビタキ	環境庁レッドリスト 対象外

## 要注目種

ヘラサギ	環境庁レッドリスト 情報不足
クロツラヘラサギ	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 A類
ハクガン	環境庁レッドリスト 情報不足
サカツラガン	環境庁レッドリスト 情報不足
チゴハヤブサ	環境庁レッドリスト 対象外
クイナ	環境庁レッドリスト 対象外
ヒメクイナ	環境庁レッドリスト 対象外
オオバン	環境庁レッドリスト 対象外
タマシギ	環境庁レッドリスト 対象外

## 要注目種

ケリ	環境庁レッドリスト 対象外
ズグロカモメ	環境庁レッドリスト 絶滅危惧 類
コミミズク	環境庁レッドリスト 対象外
フクロウ	環境庁レッドリスト 対象外
コシアカツバメ	環境庁レッドリスト 対象外
イワヒバリ	環境庁レッドリスト 対象外
ノジコ	環境庁レッドリスト 準絶滅危惧

## 環境庁カテゴリー区分

区分	具体的要件
絶滅 Extinct(EX)	過去に日本に生息していたことが確認されており，飼育・栽培下を含め，日本では既に絶滅したと考えられる種
野生絶滅 Extinct in the Wild(EW)	過去に日本に生息していたことが確認されており，飼育・栽培下では存続しているが，野生ではすでに絶滅したと考えられる種
絶滅危惧 A類 Critically Endangered(CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
絶滅危惧 B類 Endangered(EN)	Aほどではないが，ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高いもの
絶滅危惧 類 Vulnerable(VU)	次のいずれかに該当する種 大部分の個体群で個体数が大幅に減少 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化 大部分の個体群でその再生能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている 分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入
準絶滅危惧 Near Threatened(NT)	生息状況の推移から見て，種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの
情報不足 Data Deficient(DD)	環境条件の変化によって，容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが，生息状況をはじめとして，ランクを判定するに足る情報が得られていない種
絶滅のおそれのある地域個体群 Threatend Local Population (LP)	次のいずれかに該当する地域個体群 生息状況，学術的価値等の観点から，レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される地域個体群 地方型としての特徴を有し，生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群